

SPORTS FIRST

ゴールドウインは、スポーツ・ファースト。
 全員のスポーツに対するリアリティを、
 製品とサービスのリアリティに、つなげます。

スポーツを一番に考えること。好きになること。自分から実践すること。それは、スポーツアパレルメーカーとしては当然のことです。ゴールドウインは、ひとりひとりのスポーツに対するリアリティを、私たちが作る製品とサービスのリアリティに、つなげます。具現化します。

そこから人々の健やかで楽しい、豊かな暮らしを築き上げていきます。どこかのスターではなく、全員のリアリティを活用することを、強みにして。スポーツは私たちの日常であり、仕事であり、人生でもあることを、忘れずに。ゴールドウインは、「SPORTS FIRST：スポーツ・ファースト」。その思いを、私たちの製品とサービスで、表現しつづけていくのです。



トップメッセージ

自然との共生による持続可能なビジネスモデルで、 強く、速く、きれいな経営を。

当社は、1950年に自然豊かな富山県小矢部市に津澤メリヤスとして創業し、間もなくスポーツアパレルへと転身し、1970年代からはマルチブランドによる事業展開、そして2000年からは実需型ビジネスモデルに転換して現在に至っております。その70年の間で、「変えなかったこと」と「変えてきたこと」があります。

変えなかったことは、スポーツウエアのモノづくりに対する姿勢です。「見えないものにこそ真実の価値がある」との思いで、アスリートやお客様の声に耳を傾け、真面目に、一途に、新しい価値をご提供できるようモノづくりを続けてまいりました。一方で、変えてきたことは、社会環境の変化に対応した事業展開です。展開ブランド、生産拠点、マーケティングや販売方法など、時代の変化に合わせて変えてきました。その間には、何度も経営の危機に直面することもありましたが、その都度試練を乗り越えることができたのも、ステイクホルダーの皆様の支えによるものでした。

そして今、100年企業を見据えた持続可能な企業経営を目指すにあたり、子供の頃、富山の人々が厳しい自然と共存していくために様々な工夫を凝らしてきたことを思い出します。ゴールドウインに息づくレジリエンスは、この自然との共生と、ステイクホルダーとの関係によって培われたものだと信じています。

ゴールドウインの持続可能なビジネスモデルとは、自然と共生しながら、「変えなかったこと」を守り続け、環境負荷の低減を図り、社会環境の変化に、しなやかに対応して、スポーツファーストを貫いてゆくことだと思えます。

ゴールドウインは、自然との共生による持続可能なビジネスモデルで、スポーツを通じて健やかで豊かな暮らしを実現させるために、これからも、強く、速く、きれいな経営を貫いてまいります。

株式会社 ゴールドウイン
代表取締役会長 西田明男



トップメッセージ

■ スポーツと環境を第一に考え、世界に貢献する企業に

私たちは1950年の創業以来、夢とロマンを追い求め、強いこだわりを持ったものづくりをしてきました。「見えないものこそ、真実の価値がある」との言葉には、緻密かつ丁寧に、見えないところこそ細心の注意をはらうという意味があります。この言葉こそが私たちに課せられた使命であり責任であると考え、デザイン性、機能性、審美性のいずれも欠かすことなく、信念を持ったものづくりを続けています。

近年コモディティ化の進む市場環境において、生活者は感性への刺激を求める自己実現欲求が強まっていると感じています。私たちはそれに応えるべく常に新しいことに挑戦し続け、これまでに無かったものを創り出すことが求められます。私たちの製品やサービスで、手にするその人の人生を楽しく感動あるものにしていくことこそが私たちの喜びなのです。

そして今、世界はかつて体験したことがないほど、未来が見通せない混沌とした状況にあります。人口問題、エネルギー問題、環境問題、教育問題、自然災害の大型化など、私たちの目の前には待ったなしの課題が数多く存在しています。そのなかでも環境問題はスポーツ、衣料の側面からみても見過ごすことのできない喫緊の重要課題です。これらの課題に対して、常識を突き抜ける構想力で臨み、多くの人が環境問題への意識を変えていくような革新的な開発を推進しなければなりません。「スポーツを通じて、豊かで健やかな暮らしを実現する」という企業理念を掲げる私たちは、スポーツと環境を第一に考え、世界に貢献する企業であり続けるために、全力でこれらの使命に取り組んでまいります。

株式会社 ゴールドウイン
代表取締役社長 渡辺 貴生



企業理念

スポーツを通じて、豊かで健やかな暮らしを実現する

OUR BUSINESS — ゴールドウインの事業内容 —

ゴールドウインは全ての取り組みを通して、
スポーツ・ファーストの想いを貫いていきます。

ゴールドウインはアスリートから一般のスポーツファンまで幅広いお客さまを対象に、数多くのブランドを展開するスポーツアパレルメーカーです。それぞれのブランドにおける高度な専門性を追求し、そこで培われた技術をブランド横断的に応用することで、多様なニーズに応えるものづくりを行っています。また直営店舗を積極的に展開し、お客さまとの双方向コミュニケーションにも力を入れています。当社は、これらの活動を通じ、スポーツを愛するすべての人に信頼され、期待されるスポーツアパレルメーカーでありつづけます。

3つの視点から、ゴールドウインの事業内容についてご紹介します。

スポーツマーケットの創造

私たちのものづくり

店舗を通じたお客さまとの信頼関係づくり



OUR BUSINESS

スポーツマーケットの創造

コアブランドと共に歩み、新たなスポーツ分野を提案し続けていきます。

■ 新たなスポーツ分野の提案。コアブランドとの歩み。

1950年の創業以来、当社は時代ごとに移り変わるスポーツマーケットの動向を的確にとらえ、お客様の期待に応える商品・サービスの具現化に挑んできました。

コアブランドと共に歩んできた経験豊かな社員が、自らもスポーツを実践することで、お客さまの潜在的なニーズをとらえた先進的なアイデアを、いまも生み出し続けています。近年では、現在盛り上がりを見せているトレイルランニングやヨガなどにいち早く着目し、商品・サービスを提供することで、新たなスポーツマーケットの創造に、取り組んでいます。

さらに各種スポーツウエアで培った技術を生かし、機能性・着心地の良さにこだわった利便性の高い日常着の展開も積極的に進めています。



OUR BUSINESS

私たちのものづくり

ものづくり企業として、高機能・高品質を誇る製品の開発に励んでいます。

理想を具現化する力。研究開発から設計・縫製・品質維持まで。

スポーツアパレルメーカーとして蓄積してきた経験と、最新技術との相乗効果を最大化し、魅力的な商品の企画開発につねに努めています。創業の地、富山県小矢部市に拠点を置く本店では、素材メーカーや生産工場の協力のもと、糸や素材の選定から加工・パターン設計・縫製・品質管理までを一貫管理しています。

また、同施設内に設置された研究開発施設ゴールドウイン テック・ラボでは、人工気象室やモーションキャプチャ等の最新設備を用いて、人体の動きや生理を様々な環境下で測定し、その数値を、実践的機能を重視した製品設計に生かしています。さらに、高いデザイン性と機能を実現するため独自の縫製技術の開発や、品質保持のための厳しい検査を徹底しています。



最先端テクノロジーを生かしたものづくり。共同開発の取り組み。

当社はスポーツアパレルにおける新たな価値創造のため、特色ある新興企業との共同開発・商品化にも積極的に取り組んでいます。2019年12月には4年にわたってSpiberと共同研究開発を続けてきた、枯渇資源に依存しない構造タンパク質「ブリュード・プロテイン」を原料とした世界初のアウトドアジャケット「MOON PARKA®」の発売にいたしました。

また、消臭・吸汗・速乾テクノロジー素材「マキシフレッシュプラス」を用いJAXAと宇宙下着の共同開発を行ったオリジナルブランドMXPや、厳しい環境下でも暖かさを保つ高機能素材「光電子®」を採用したブランド横断的な商品展開なども行っています。



OUR BUSINESS



商品開発の中核、ゴールドウイン テック ラボ

スポーツウェアの開発を強化するため、研究開発施設「ゴールドウイン テック・ラボ」を、2017年11月に富山県小矢部市に開設し、最先端技術を駆使したスポーツウェアの研究開発を始動しました。

富山県小矢部市は当社創業の地で、これまでも様々な研究開発を行ってきましたが、さらなる技術開発力を強化・推進するため、ゴールドウイン テック・ラボを開設しました。

創業から70年にわたって培ってきた様々な技術開発力と、さらなる最先端設備の導入による人知とITを融合した製品開発力、さらにその高い品質を保持するための独自の品質検査体制を実現することで、誰もが想像し得ない新たな価値を持った製品の開発に努めています。



OUR BUSINESS

店舗を通じたお客さまとの信頼関係づくり

お客さまとの大切なコミュニケーションの場として、独自の店舗開発を行っています。

■ お客さまとのコミュニケーションの場として

店舗は、お客さまにスポーツを体験する機会を提供し、その魅力を積極的に提案する場でもあります。商品の提供の場としてだけでなく、お客さまとの大切なコミュニケーションの場として、イベントやワークショップ等も開催しています。そして、店舗でのお客さまとのコミュニケーションから得た知見は、つねに新たな商品・サービスの開発にフィードバックされています。



■ お客さまのニーズに寄り添って。独自の商品ラインナップからサービス。新規業態開発の取り組み。

お客さまとの双方向コミュニケーションの更なる向上を目指し、新たな販売業態の開発にも注力しています。フィールド隣接型店舗としては、北海道・ニセコや長野県・白馬に「THE NORTH FACE GRAVITY」を展開し、ウェアやギアの販売だけでなく、製品・関連書籍の貸し出しやイベント開催など、お客さまの幅広い要望に対応しています。都市型店舗としては、「スポーツライフスタイルで24時間を過ごしたい人たちのためのココロとカラダをニュートラルに整える」をコンセプトにした、アスレチックスポーツの業態「NEUTRALWORKS.」を展開。これらの、直営店舗を通じて、スポーツの新たな価値の探求や、商品・サービスの提案を行っています。



OUR BUSINESS

代表的な直営店舗のご紹介

マルチブランドを展開している当社では、日々多様化するお客様のニーズに合わせて、様々なコンセプトの直営店舗を積極的に展開し、一ブランドの提案だけにとどまらず、時には外部仕入商品まで含めて、つねにお客様の求める一歩先を提案できるよう努めています。

直営店舗の形態は、ショッピングモールなどの中に入っているSCショップ形態と、当社独自に路面に店を構える路面ショップ形態の2つに大別され、ショッピングモールの特色や、路面店においてはその立地状況などを総合的に分析し、最適なブランドと最適な品揃えでお客様に提案を行っています。



Goldwin Marunouchi

スキーウェア開発で培った技術を駆使し、快適で合理的なウェアを提案するフラッグシップショップ



Goldwin San Francisco

2019年11月にオープンしたGoldwin初の海外直営店



NEUTRALWORKS. HIBIYA

アスレチックカテゴリーにおける当社のフラッグシップショップ



FISCHER TUNING BASE

スキー&ブーツのチューニングや最新商品の販売・レンタルを行う新業態



CANTERBURY 青山

ラグビーの聖地、秩父宮ラグビー場の膝元にあるフラッグシップショップ



CANTERBURY RUGBY+ 新丸ビル

カンタベリー初のワークアウト&デ일리ースタイルショップ

OUR BUSINESS



THE NORTH FACE MOUNTAIN

ブランドのコアとなる、高度なテクノロジーを搭載した専門性の高いアイテムを取りそろえる専門ショップ



THE NORTH FACE GRAVITY 白馬

THE NORTH FACEのフィールド隣接型ショップ



THE NORTH FACE FLIGHT TOKYO

トレイルランニング・ランニングに特化した専門店



THE NORTH FACE UNLIMITED 銀座 SIX

都市と自然を結ぶ、新しい大人のアウトドアスタイルショップ



THE NORTH FACE EXPLORER

旅行者の快適な旅をサポートする商品を取りそろえる空港ターミナル内ショップ



THE NORTH FACE KIDS 原宿

キッズに特化した専門店 様々なキッズイベントの発信基地



THE NORTH FACE+ ららぽーと船橋

当社の展開するアウトドアブランドを幅広く取りそろえた複合型ショップ



HELLY HANSEN 原宿

HELLY HANSEN ブランドのフラッグシップショップ

ブランド紹介



ゴールドウイン

当社のオリジナルブランド「Goldwin」は、スキーやアウトドアとともに歩んだ経験が導き出した、ミニマルなデザインと合理性・快適性・利便性が融合したプロダクトを提案しています。「Ski」「Outdoor」「Athletic」「Lifestyle」「C3fit」の5つのカテゴリーを展開。2018年からは「都市生活とフィールドを繋ぐ」というコンセプトのもと、東京（丸の内・原宿）、アメリカ（サンフランシスコ）、ドイツ（ミュンヘン）へ直営店を出店し、グローバルに拠点づくりを進めています。



ゴールドウインモーターサイクル

1983年に『GW SPORT』として誕生した『ゴールドウインモーターサイクル』。その品質と機能バランスに優れた製品づくりに、誕生以来かたくなに拘ってきたのはC.A.S.E. (Comfort = 快適性、Activity = 運動性、Safety = 安全性、Easy to use = 利便性) という独自の開発思想。それは私達のすべてのライディングウェア/ギアに息づいています。



エムエックスピー®

先端のスポーツウェアの技術と消臭テクノロジーを応用し、生活をより快適にする機能とデザインを持ち合わせたアンダーウェアを提供します。スポーツウェアの動きやすさや、吸汗速乾性といった機能、カラダのニオイの消臭機能、そしてベーシックかつ研ぎ澄まされたデザインがあなたのカラダの一部となってくれることを望みます。



スピード

1928年にオーストラリアで誕生した「Speedo」は、革新的な技術で数多くのトップスイマーをサポートし、世界のリーディングスイムウェアブランドとして圧倒的な地位を保持しています。



エレッセ

1959年、イタリアのペルージャで誕生したエレッセ。以来、その洗練されたデザインは、常に世界のスポーツウェアをリードしています。



ダンスキン

1882年にニューヨークで生まれたダンスキンは「For Multi Exercise Women」をコンセプトに、インドアからアウトドアまで、スポーツをライフスタイルにしている女性の為の、幅広い商品を提案しています。



カンタベリー

1904年ニュージーランドにてラグビーウェアブランドとして創業。ラグビージャージの原形を作り上げ、ラグビー日本代表をはじめ、イングランド代表などの世界のトップチームへのユニフォーム提供など、世界中のラグーマンに愛用され、信頼されているブランドです。



ブラック&ホワイト

黒と白の2匹のテリアでおなじみの、ブラック&ホワイト。洗練された大人にふさわしい高感度のデザインでゴルフウェアのスタイリングを多彩に拡げる、シンプル&クオリティを追求したウェアを提案していきます。



アンパシィ

異なる2つのものを結ぶことで、想像以上の楽しさを。そんな思いから生まれたのが「アンパシィ」。ラテン語で“&”を意味する“& per se and”を語源とし、繋いでいく思いを名前に込めました。今の気分と知性を感じさせるミニマルなデザインとパフォーマンスに不可欠な機能を備えたゴルフウェアが「アンパシィ」です。



ザ・ノース・フェイス

1966年、米国のカリフォルニア州バークレーで創業。高品質のグースダウンを惜しげもなく使用したクオリティの高いスリーピングバッグ、ダウンパーカの原形ともいえるシェラ・パーカ、世界初のドーム型テント「オーバルインテンション」など、一切の妥協を許さず、高機能を追求し、テクノロジーの限界に挑戦し続けてきた世界のアウトドア・ブランドです。

ブランド紹介



ヘリーハンセン

1877年、ノルウェーで漁師の為に防水着メーカーとして創業。以来、南極探検隊のサポートなどで得たノウハウで、高機能アウトドアクロージングを提供します。



マックパック

1973年、ニュージーランドで生まれたマックパックは、「Simplicity Beyond Complexity (簡潔であることは、複雑であることに勝る)」を基本理念に、丈夫で防水性の高い生地を使い、耐久性を第一に考えた、高い品質を持ったバックの代表となっています。



アイスブレイカー

メリノウールが持つ利点(暖かい、通気性、生分解性、イージーケア/洗えるウール、軽量)に注目して、メリノウールによるアウトドア・ウエアというカテゴリをつくったパイオニアで、「ソフトな肌触り」「優れた通気性/湿度管理」「温度調節」「においが付きにくい」と、4つの要素で快適を追求したブランドです。



ウールリッチ

優れた生産技術と最先端のパフォーマンスアパレルを、約2世紀に渡って供給するアメリカで最も歴史のあるアウトドアブランドです。製品設計や材料開発におけるあくなき探究心を基に独自のアイデンティティを刻み続けます。



241(トゥー・フォー・ワン)

プロスノーボーダーでありアーティストでもあるマイク・バシッチが作ったこだわりのブランドです。



フィッシャー

1924年創業のオーストリアの代表的なスキーブランド。持ち前の技術革新力を駆使し、アルペンスキー、クロスカンントリーから、スキーボードまで、あらゆるジャンルでハイレベルなスキーを提案します。



サンスキー

SUNSKIは2012年にサンフランシスコで生まれたサングラスブランドです。パッケージにプラスチックを使用せず、軽量でしなやかなリサイクルポリカーボネートフレームを独自に開発し、そのフレームの破損に対し生涯保証を付けるなど、常に環境に配慮した考えを持っています。



プロフェシオ

クリーンルームを始め特殊環境ウエアを開発するプロフェシオ。最先端のスペックを追求し防塵・耐久性、防寒性等、着用快適性能と高次元で融合させました。

STORE BRAND



ニュートラルワークス

NEUTRALWORKS.は、「スポーツライフスタイルで24時間を過ごしたい人たちのための、ココロとカラダをニュートラルに整える」をコンセプトにしたアスレチックストアです。カラダの力を自然な状態で発揮しやすくするように最適化するという概念をベースに、お客様の求めるニーズを満たす製品や新しいサービスコンテンツを提供します。

CSR TOPICS

スポーツから、もっと健やかで楽しい明日へ。

ゴールドウインは、スポーツを通じた豊かな暮らしの実現と、社会の発展に寄与することを目指し、CSRの取り組みを行っております。「身の丈にあった、継続的で、全員参加によるCSR推進活動」をモットーに、これからも積極的に取り組んでまいります。

■ 次世代育成

次世代に活躍するアスリートを育成することや、子どもたちに豊かなスポーツフィールドを引き継いでもらえるよう、当社は子どもたちを対象に様々なスポーツ支援活動を行っています。また、子どもだけでなく、家族でスポーツの楽しみを知っていただくため、親子参加型のイベントにも積極的に取り組んでいます。



自然を体感しながら親子で学ぶ「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」



競泳のメダリスト松田丈志さんによる、「ジュニアスイムレッスン」



親子の絆を太くする「Family Ties Tennis」



子どもたちを世界の舞台へ導く「ゴールドウインナスターレース ユース ジャパンカップ」

CSR TOPICS

障がい者スポーツ支援

スポーツ用品メーカーとして蓄積してきた技術と経験をもとに、当社は障がい者スポーツ支援活動を積極的に行っております。健康な人にも障がいのある人にも分けへだてなくスポーツを楽しむ機会が与えられるよう、「する人」「見る人」「支える人」の三者を等しく支え、誰もが健やかに暮らせる「共生社会」の実現に寄与することを、この活動の指針としております。



日本障害者スキー連盟のオフィシャルスポンサー・オフィシャルサプライヤー



日本障がい者水泳連盟のオフィシャルパートナー



車いすラグビー連盟のオフィシャルサプライヤー



日本ボッチャ協会のゴールドパートナー



車いすラグビーの会場ボランティア



選手を応援する社内パブリックビューイング

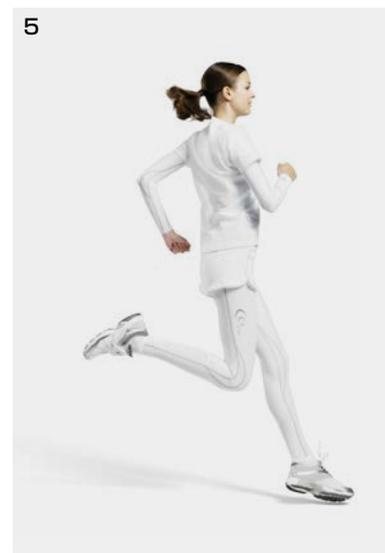
沿革

- 1950 ・西田東作、25才で富山県西部の小矢部市に、ゴールドウインの前身である津澤メリヤス製造所を創業[1]
- 1952 ・一般メリヤスブランドからスポーツウエア専門ブランドへと転身。現在の方向性を確定づける
- 1963 ・社名を現在の株式会社ゴールドウインに改める
 ・第18回東京都オリンピック大会において、当社製品が競技ユニフォームとして採用される。体操、バレーボール、レスリングをはじめとする金メダリストの8割がゴールドウインのユニフォームを着用[2]
- 1970 ・フランスのスキーウエアブランド「フザルプ」と技術提携を結ぶ
- 1978 ・アメリカのアウトドア用品ブランド「ザ・ノース・フェイス」製品の輸入販売を開始[3]
 ・「エレッセ」のテニスウエア輸入販売を開始
 ・名古屋証券取引所第二部へ上場。資本金5億円に増資
 ・「スポニチ山中湖ロードレース」への協賛を開始。
 ・ノルウェーのスポーツアパレルブランド「ヘリーハンセン」と提携および販売を開始
- 1986 ・ゴールドウインモーターサイクルウエアの販売を開始
 ・防塵服をはじめとする、特殊環境作業衣（ハイテックウエア）の開発、販売を開始
 ・スウェーデンナショナルスキートームのオフィシャルサプライヤーとなる
- 1989 ・兼松株式会社と共同で、スポーツ用品会社シークラフトを設立し、オーストリアの「フィッシャー」ブランドのスキー輸入販売を開始
 ・「ダンスキン」の日本における商標権を取得。
- 1990 ・「エレッセ」の日本における商標権を買い取り、経営基盤の充実を図る
 ・韓国ソウル市に合弁会社、ゴールドウイン코리아(現ヤングワンアウトドアコーポレーション)を設立。
 ・「ザ・ノース・フェイス」の日本・韓国市場における全アイテムの商標権を取得
 ・東京、名古屋証券取引所第一部に上場
 ・障がい者福祉を支援する取り組み「北陸ウエルフェアゴルフトーナメント(現:寛仁親王記念杯 北陸ウエルフェアゴルフトーナメント)」への協力を開始
- 2000 ・次世代のトップスキーヤーの育成を目指した、「ゴールドウイン ナスターレース チルドレン/キッズ ジャパンカップ」の協賛を開始



沿革

- 2001
- ・株式会社カンタベリーオブニュージーランドジャパンへ資本参加
 - ・「ザ・ノース・フェイス」製品を使用した三浦雄一郎氏、世界最高齢70才でのエベレスト登頂に成功
 - ・株式会社ゴールドウィンテクニカルセンターが参画する“近未来宇宙暮らしユニット”がJAXAの“宇宙パートナー制度の事業提案”に選定
- 2006
- ・ニュージーランドのアウトドアブランド「マックパック」の輸入販売を開始
- 2007
- ・ナノテクノロジーで、消臭効果と抗菌効果を実現した高機能ウエア『マキシフレッシュ』を発売
 - ・世界のリーディングスイムブランド「Speedo」の事業を開始
 - ・「ヘリーハンセン」製品を着用した海洋冒険家・白石康次郎氏単独世界一周ヨットレース“VELUXファイブオーシャンズ2006-07”で総合2位を獲得
 - ・スイムブランド「スピード」よりハイテク・スイムスーツ『レーザー・レーサー』を世界同時発表[4]
 - ・JAXA（宇宙航空研究開発機構）が主管する“近未来宇宙暮らしユニット”に株式会社ゴールドウィンテクニカルセンターが参画し、宇宙船内用日常服の開発を担当。日本実験棟“きぼう”の打ち上げミッションにおいて、土井飛行士が着用
 - ・「ザ・ノース・フェイス」製品を使用した三浦雄一郎氏、75才でエベレスト再登頂に成功
- 2009
- ・循環型の衣料品リサイクル・システムを開始
 - ・着るだけで『加齢臭』をカットする「マキシフレッシュプラス」のアンダーウエアの販売を開始
 - ・「一般医療機器」のコンプレッションウエア「C3fit」を発表[5]
- 2010
- ・宇宙下着の技術を応用した、着るだけで加齢臭と汗のニオイを大幅に減少させる素材「マキシフレッシュ®プラス」を採用したアンダーウエア「MXP」を発売[6]
- 2011
- ・独自のダブルメッシュ構造によるエアアクセル効果により運動時に優れたクーリング効果を実現するスポーツウエア「So Cool! PLUS」を、全社横断で展開
 - ・ブラックアンドホワイトスポーツウエア株式会社を子会社化し、「Black & White」ブランドのゴルフウエア・カジュアルウエアおよびグッズ類の展開を開始
- 2012
- ・富士山麓を一周するレース「ウルトラトレイル・マウントフジ」の特別協賛を開始



沿革

2013

- ・スポーツへの想いを込めた新しいタグライン「SPORTS FIRST : スポーツ・ファースト」を発表
- ・メリノウールによるアウトドア・ウエアというカテゴリをつくったパイオニア「アイスブレイカー」の輸入販売を開始
- ・スイス・バーデンに GOLDWIN EUROPE AG を設立
- ・アスリートとモードな感性を「&」で繋ぐという思いを込めて名付けた、オーセンティックでミニマルなデザインに、プレイに必要な機能を備えた高感度なゴルフウエア「アンパスイ」の展開を開始
- ・世界最高齢80歳で3度目のエベレスト登頂の偉業を成し遂げた三浦雄一郎氏率いる「MIURA エベレスト2013プロジェクト」をサポート[7]
- ・米国カリフォルニアに GOLDWIN AMERICA, Inc. を設立
- ・限りある資源であるダウン（羽毛）を回収、精製し、再び新たな製品に利用する「GREENDOWN RECYCLE PROJECT」を開始
- ・ミクロの活性粒子によって吸水速乾性を向上した機能素材「ALPHADRY」の全社展開を開始
- ・ザ・ノース・フェイスでは初となるキッズ専門のアウトドアショップを原宿キャットストリートにオープン
- ・着用するだけで心拍数・心電波形などの生体情報を取得できる機能素材「hitoe」を活用したウエア型のトレーニングデータ計測用デバイス「C3fit IN-pulse」シリーズの発売を開始[8]

2015

- ・日本障がい者スポーツ協会とのパートナーシップ契約を締結
- ・新世代タンパク質素材の実用化へ向けた第一歩：THE NORTH FACEで開発したプロトタイプ「MOON PARKA」を発表[9]
- ・カンタベリーブランドのユニフォームを着用したラグビー日本代表が、ワールドカップにおいて歴史的3勝をおさめる[10]
- ・第1回富山マラソンのゴールドパートナーとして大会を支援

2016

- ・日本身体障がい者水泳連盟とオフィシャルパートナー契約を締結
- ・日本ウィルチェアラグビー連盟とオフィシャルサプライヤー契約を締結
- ・単独・無寄港・無補給 世界一周ヨットレース「Vendée Globe」に挑戦する海洋冒険家・白石康次郎氏のセーリングウエアをサポート



沿革

- 2017
- ・ヘリーハンセンの日本における商標権を取得
 - ・経済産業省より2017年度健康経営優良法人ホワイト500に認定
 - ・スポーツの振興に関する事業の推進を図り、すべての人がスポーツを等しく楽しめる共生社会の実現に寄与することを目的とし、一般財団法人西田東作スポーツ振興記念財団を設立
 - ・WOOLRICH INTERNATIONAL LIMITEDの少数株主持分を取得し、持分法適用関連会社化
 - ・日本障害者スキー連盟とオフィシャルスポンサーならびにオフィシャルサプライヤー契約を締結
 - ・日本初となる、スキー&ブーツブランド「FISCHER」の情報発信拠点を東京・神田にオープン
 - ・創業の富山県小矢部市に開発の拠点となるゴールドウイン テック・ラボを設置[11]
- 2018
- ・カンタベリーオブニュージーランドジャパンが「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」の オフィシャルスポーツアパレルサプライヤーに
 - ・日本環境設計株式会社とのパートナーシップによるGREENCYCLEをスタート
 - ・株式会社ウールリッチジャパンが南青山に旗艦店をオープン
- 2019
- ・86歳で南米大陸最高峰アコンカグア登頂とスキー滑降に挑む三浦雄一郎さんをサポート
 - ・渋谷区と「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」を締結
 - ・カンタベリーオブニュージーランドがラグビー日本代表2019年ジャージを発表。ゴールドウイン テック・ラボが同ジャージの開発拠点となる[12]
 - ・アパレルの多様なニーズに対応する構造タンパク質「ブリュード・プロテイン」を使用したTシャツを発売
 - ・構造タンパク質「ブリュード・プロテイン」を使用したアウトドアジャケット「MOON PARKA」を発売[13]
 - ・初の海外直営店「Goldwin San Francisco」をオープン
- 2020
- ・THE NORTH FACEが山梨県北杜市と地域活性化に関する包括連携協定を締結
 - ・国内2店舗目となるGoldwinの旗艦店を原宿明治通り沿いに出店
 - ・お客様の体型や好みにあわせたカスタマイズが可能な141CUSTOMSを展開する、THE NORTH FACE LABを渋谷にオープン



沿革

2021

- ・Goldwin 海外2店舗目となる直営店をミュンヘンにオープン[14]
- ・構造タンパク質「プリュード・プロテイン」を使用したセーターをGoldwinから発売[15]
- ・世界一周無寄港無補給のヨットレースを完走した白石康次郎氏をHELLY HANSENがサポート
- ・ゴールドウイン テック・ラボで開発したユニフォームをスポーツライミング日本代表に提供
- ・北海道・斜里町と「地域活性化に関する包括連携協定」を締結
- ・Goldwin 海外3店舗目となる直営店を中国・北京に出店

2022

- ・株式会社カンタベリーオブニュージーランドジャパンを吸収合併
- ・石油由来の化学繊維に代わる環境配慮素材の製品開発を推進するため、Bioworksと資本業務提携
- ・健康経営銘柄2022に選定
- ・ベンチャー企業との資本・事業連携を促進し、サステナブルな未来を創るためのコーポレートベンチャーキャピタル「GOLDWIN PLAY EARTH FUND」を設立
- ・「地球との遊び」が生まれる公園「GOLDWIN PLAY EARTH PARK」を東京ミッドタウンにて開催



会社概要

- 商号：株式会社ゴールドウィン
GOLDWIN INC.
- 設立：昭和26年12月22日
- 資本金：7,079百万円
- 東証一部上場 コード番号：8111
- 年商（連結）：98,235百万円
- 年商（単独）：85,838百万円
- 従業員：2,997名（グループ）
- 事業内容：次の各種スポーツ用品の製造および販売

- アウトドアスタイル関連商品
登山用ウエア、マリンウエア、アウトドア用品および関連商品
- アスレチックスタイル関連商品
トレーニングウエア、テニスウエア、フィットネスウエア、スイムウエア、ゴルフウエア、ラグビーウエアおよび関連商品
- ウインター関連商品
スキーウエア、スノーボードウエアおよび関連商品
- その他
機能アンダーウエア、ハイテックウエア（防塵服）、OEMなど
(2021年3月31日現在)

役員一覧

取締役

代表取締役会長	西田 明男
代表取締役社長	渡辺 貴生
取締役	西田 吉輝
取締役	本間 永一郎
取締役	白崎 道雄
取締役	森 光
取締役	森口 祐子
取締役	秋山 里絵
取締役	好本 一郎
取締役	為末 大

(注) 森口祐子、秋山里絵、好本一郎、為末大の4氏は社外取締役であり、東京証券取引所の定める独立役員であります。

監査役

常勤監査役	近藤 政明
監査役	塩原 明之
監査役	世一 秀直
監査役	森田 勉

(注) 塩原明之、世一秀直、森田勉の3氏は社外監査役であります。

執行役員

社長執行役員	渡辺 貴生
専務執行役員	西田 吉輝（商品・調達・富山地区関係会社担当）
専務執行役員	本間 永一郎（海外担当）
常務執行役員	森 光（事業本部長）
常務執行役員	白崎 道雄（管理本部長）
執行役員	又座 暢章（販売本部長）
執行役員	大井 保（商品本部長）
執行役員	金田 武朗（経営企画本部長）
理事	野村 一哉（事業本部副本部長）
理事	小泉 聡（販売本部副本部長）
理事	新井 元（事業本部副本部長）
理事	鈴木 昭彦（商品本部副本部長）
理事	数中 潔（管理本部副本部長）
理事	石井 邦彦（管理本部副本部長）

(2022年4月1日現在)

東京本社

〒150-8517 東京都渋谷区松涛2-20-6
TEL 03-3481-7201(代)
FAX 03-3481-7256

本店

〒932-0193 富山県小矢部市清沢210
TEL 0766-61-4800(代)
FAX 0766-61-4809

大阪支店

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-4-30
ニッセイ新大阪ビル14F
TEL 06-4807-1700(代)
FAX 06-4807-1410

札幌営業所

〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西3-1-1
大同生命札幌ビル13F
TEL 011-208-7190(代)
FAX 011-208-7193

福岡営業所

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-14-1
博多深見パークビルディング1101
TEL 092-472-6041(代)
FAX 092-473-0138

主なグループ会社

株式会社ナナミカ
ブラックアンドホワイテスポーツウエア株式会社
株式会社ウールリッチジャパン
株式会社ゴールドウイントレーディング
株式会社ゴールドウィンロジテム
株式会社ゴールドウィンエンタープライズ
ゴールドウィン開発株式会社
株式会社ゴールドウィンベンチャーパートナーズ

海外ネットワーク

ゴールドウィンヨーロッパ GODLWIN EUROPE AG
北京奥冠英有限公司 BEIJING GOLDWIN CO.,Ltd.
高得運(北京)服装商貿易有限公司
高得運(上海)服装科技有限公司 SHANGHAI
GOLDWIN CO.,LTD.
ゴールドウィンアメリカ GOLDWIN AMERICA,Inc.
ヤングワンアウトドア コーポレーション YOUNGONE
OUTDOOR Corporation

ホームページ：<https://www.goldwin.co.jp/>

社名の由来

古代オリンピック発祥の地ギリシャでは、オリンピックの勝者に月桂樹の葉を冠にあしらって授け、その勝者を「ゴールド・ウイナー」と呼びました。選手たちに「ゴールド・ウイナー」になってほしい、という願いを込めて、東京オリンピックの前年の1963年、「ゴールドウィン」に社名変更しました。実際、東京オリンピックで日本選手が獲得した16個の金メダルのうち、12個がゴールドウインのウエアを着用していた選手たちでした。



健康経営銘柄 2022

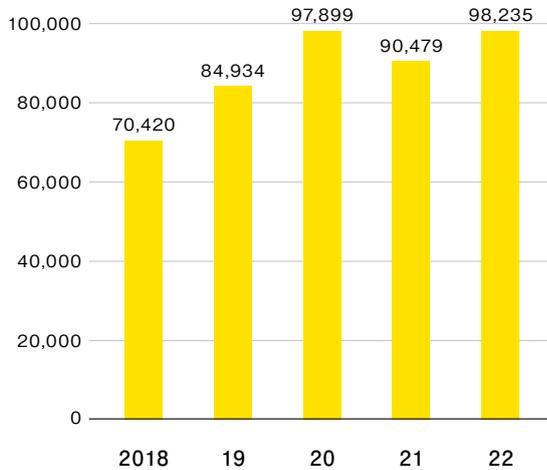
Health and Productivity

経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」に選定

会社概要

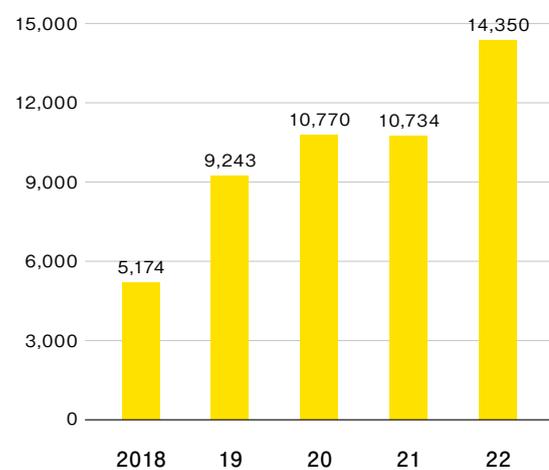
売上高

(単位:百万円)



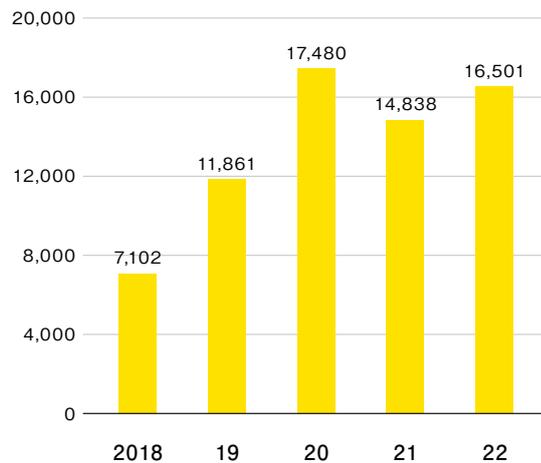
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



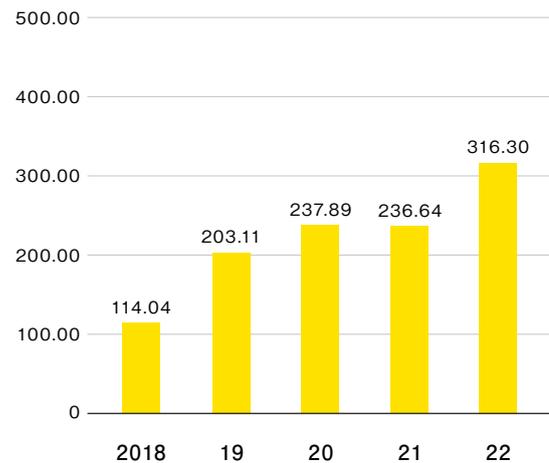
営業利益

(単位:百万円)



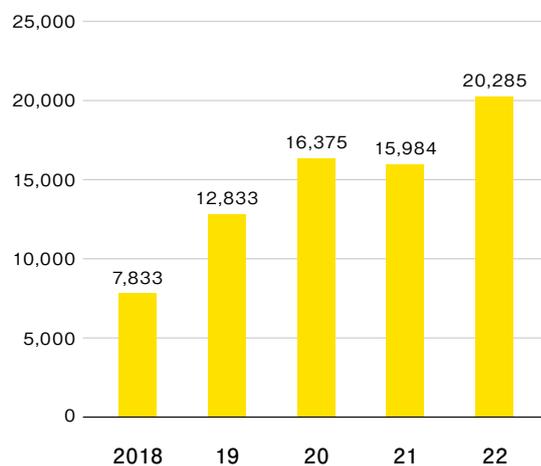
1株当たり当期純利益

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



1株当たり配当金

(円)

配当性向

(%)

